

集団がん検診を受けるときの注意事項

感染予防のため、乳がん検診以外は検査着の貸し出しは控えてさせていただきますので、下記をご確認の上、ご自身の服装で受診できますよう、ご協力をお願いいたします。ご自身の荷物や脱いだ服を入れる袋をご用意ください。また、できるかぎりマスクの着用にご協力ください。

結核・肺がん検診

- 検診時には無地のTシャツ等になれるようにしてお越しください。検診車によっては車内に更衣室がありません。下記のものは、あらかじめお持ちしておきましょう。
 - ・ネックレス、エレキパン、湿布、カイロなどの磁気製品
 - ・金具、プラスチック類、ホックのついた下着やコルセット
- 胃バリウム検診後は、体内に残っているバリウムが写り、正しい診断ができない場合があるため、3日間は、結核・肺がん検診を控えてください。



検査ができない人

- 最近6カ月以内に血痰の症状があった人は医療機関で受けてください。
- 妊娠中または妊娠の可能性がある人

胃がん検診

- 検診前日、夜10時以降は検査終了まで飲食禁止です。(ただし、熱中症予防のため少量の水は飲んでもかまいません)
- 検診後に下剤を服用しますので、飲料水(500ml程度)をご持参ください。
- スポンのベルト・ボタン・ファスナー等はエックス線に写りますので、撮影の妨げにならない服装でお越しください。
- 検診当日、服薬の必要がある人は、予約時間の3時間前までに少量の水で飲んでください。(インスリンを含む糖尿病の薬は服用しないでください)
- 結核・肺がん検診と胃がん検診を同日に受ける場合は、先に結核・肺がん検診を受診してください。

検査ができない人

- 妊娠中、または妊娠の可能性がある人
- 過去に発疹等バリウムによるアレルギーを起こしたことのある人
- 過去に食物で重篤なアレルギーを起こしたことがある人
- 腸閉塞や腸ねん転、大腸憩室などの既往歴がある人
- 3カ月以内に大腸ポリープの内視鏡治療をした人
- 1年以内に胃・大腸(痔も含む)の手術をした人
- 人工肛門の人
- 腎臓病・心臓病などで水分制限を受けている人
- 常時、酸素吸入をしている人
- 4日以上排便のない人※便秘気味の方は検診当日までに体調を整えてください。



子宮頸がん検診 ※検診時間は、約1~2分

- 貸出用ペチコートはありませんので、脱ぎ着のしやすい服装(スカート)でお越しください。
- ブラシを使って子宮頸部の細胞をこすって採取しますので、少し出血する場合があります。
- 血液サラサラのお薬(抗凝固剤等)を飲まれている場合、出血しやすくなります。
- 妊娠中または妊娠の可能性のある人は、医療機関でご相談ください。
- 生理中の人でも検査できますが、再検査になる可能性もありますので、生理中は避けることが望ましいです。
- 子宮内に器具やチューブを装着されている場合、子宮の入り口がふさがれ検診できない場合があります。



乳がん検診 ※検診時間は、約5分

- 上半身の服を脱ぐため、上下に分かれる服装(ワンピース以外)でお越しください。

検査ができない人

- 妊娠中、または妊娠の可能性がある人
- 授乳中の人(授乳開始から6カ月程度までの人)
- 豊胸手術をしている人
- 心臓ペースメーカー、リザーバーポート、パーキンソン病での刺激発生器を埋めている人



集団検診で検査ができない人は、医療機関でご相談のうえ、検査可能とのことであれば、相談された医療機関で検診を受けてください。